



会長新年挨拶

謹んで新年のお喜びを

申し上げます



七尾市農業委員会

会長 坂井 助光

旧年中は、農業委員会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、年初めの大雪、夏の酷暑、秋の長雨・洪水等々、農業にとって大きな気象変動のあった年でありました。

また、昨年の通常国会において「農地法・農業経営基盤強化促進法の一部を改正する法律」が可決・成立しました。

コンクリート張りの農業用ハウスについて、農業委員会への届け出を条件として農地転用の許可を不要にすることや、相続未登記農地を農地中間管理機構を通じて担い手に集約するための農業委員会の探索・公示手続きによる農用地利用集積計画のみなし同意の制度など、農業委員会が担う役割はますます重要になっております。

七尾市農業委員会といたしましても、少子高齢化、若者の農業離れ等、環境は厳しいものがありますが、担い手の育成や圃場整備を中心とした農地集積、遊休農地の解消等、地域活性化に努めてまいりたいと考えています。

平成最後の新春となりましたが、平成31年が皆様にとりまして幸多き年となりますようご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

# 頑張ってます!

《part 31》

## 能登新鮮組 「フレッシュパニエのと」OPEN!



11月30日に七尾市と中能登町の若手農業者グループ「能登新鮮組」は、能登中島駅近くの「旧のとちゃん」に農産物直売所をオープンしました。

今回は、代表を務める石坂竜太さんに話を伺いました。石坂さんは自らも認定農業者で水稲や露地野菜を作る生産者です。生産して

売るまで、そしてお客さんの顔を見て売りたい、生産者の顔が見える直売所を作りたいという強い思いがあり、メンバーと協力してまた来店したくなる店となるよう考えながら内装やレイアウトなどを手掛けたそうです。メンバーの多くは認定農業者で自らが生産者ですが、繁忙期には応援で店頭立ち、自分たちが丹精込めて育てた自慢の野菜を販売しています。

最近では「美味しかったよ。また、買いに来たわ」とリピーターとなつて何度も足をはこんでくれるお客さんがいたり、

「先日買ったお米が美味しかった」



松田友也さん 石坂竜太さん 大森幸太郎さん

営業時間/9:00~16:00  
飲食時間/11:00~15:00  
(夜間は14名まで予約対応可)

定休日/火曜日  
☎66-1725

「だから」とまた来たお客さんが、知人を連れて来店してくれたりするなど直売所運営に手ごたえを感じているそうです。お客さんの声が直に聞けることが嬉しく、お客さんからの良かった声も悪かった声もしっかりと生産者に届けることで、良い声は生産者の生産意欲を掻き立て、悪かった声は改善することで品質の向上につながる。と話す。地域や外からのお客さんのニーズにすぐに応えることができる、より良い店づくりを目指しています。毎日、新鮮で安心野菜を自信持って提供していきたいと抱負をのべた。

## 第56回農業委員会大会

11月16日、津幡町の「文化会館シグナス」で県内市町から400人近くの農業委員、農地利用最適化推進委員ほか関係者が参集して「石川県農業委員会大会」が開催されました。

当日は式典の前に高知大学人文社会科学部教授の緒方賢一氏による「地域の農業を守り、活かす農業委員会活動」と題し基調講演が行われました。

その後、農業政策に関する提案決議、「新・農地を活かし、担い手を応援する全国運動」の推進と改正農業委員会法に基づく新たな組織づくりに関する申し合わせ決議、全国農業新聞、全国農業図書の普及や農業者年金の加入推進など、情報提供活動の取り組み強化に関する申し合わせ決議を採択しました。

また、この大会の席上において、次の方々が永年勤続農業委員の表彰を受けました。

### 石川県知事感謝状

(通算15年以上)

山田 重隆 委員

### 石川県農業会議会長表彰

(通算9年以上)

島本 正光 委員



## 視察研修報告(岐阜県高山市)

11月7日から8日にかけて、岐阜県高山市の荒城郷まほろば文化村、高山市農業委員会、ミチナル(株)等へ視察研修に行ってきました。

荒城郷まほろば文化村では、小学生に年間15回の農業体験等を通じて農や食、伝統文化や自然環境を学ばせ、子どもの豊かな感性を育むと同時に親子のふれあいや共同作業を通じてのコミュニケーション促進を目的とした事業を実施していました。DVDで活動の映像を見ましたが、子どもたちは生き生きと楽しく活動していたので、子どもの「生きる力」を育む素晴らしい事業としたいと思います。

行いました。

ミチナル(株)は、「捨てない農業」の実現を目標とした会社で、今までは、規格外で廃棄されていたほうれん草を「冷凍のほうれん草」に加工して販売していました。当初は三十軒ほどの農家からほうれん草を仕入れていましたが、今では百二十軒が増え、農家に支払う金額は多い農家で月に二十五万円と聞き驚きました。企業の努力が農家の収入アップに繋がり、地域の農業発展に貢献していることを知りました。

今回の視察研修で学んだことを今後の活動に活かしていきたいと思えます。

高山市農業委員会への視察では、農業委員会の取り組みと高山市の農業について学びました。高山市では農業者、JA、県、市などが連携し、農業を目指す方の就農相談から就農研修、就農後のサポートまで、手厚く支援していました。新規就農にはトマト栽培が適しており、農業収入も安定しているので安心して新規就農できると感じました。また、今後の課題や活動等について意見交換を



# 農業委員募集

農業委員の欠員により農業に関心のある人を募集します。

## ■応募資格

農業に関する識見があり、農業委員会が所管する事項に関し、その職務を適切に行ことができる人。

## ■業務

農地の権利移動の許認可や転用許可にかかる意見の決定。農業の担い手への農地集積・集約化や遊休農地の発生防止・解消。

農業者からの相談、助言など。  
(業務内容については七尾市農業委員会事務局まで)

## ■募集人数 1人(男女問わず)

## ■任期 平成31年3月25日～ 平成32年7月23日

## ■報酬 市の規定により支給

## ■申込方法

- ①個人からの推薦
- ②団体等からの推薦
- ③自らの応募

いずれの場合も、申し込み用紙を農林水産課へ持参してください。様式は市ホームページでダウンロードできます。

## ■申込期限 平成31年1月28日(月)

お問合せ 農林水産課 ☎53-5010

## 編集後記

明けましておめでとうございます

旧年中は農業委員会だよりをご愛読いただき有難うございました。

昨年は大雪に始まり、長い酷暑、記録的な豪雨と災害に見舞われ心折れることもしばしばでしたが、今年は元号も変わり新たな時代の始まりとして輝かしい年となることを祈ってやみません。

本年も編集委員一同、お役に立てる情報を発信してまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

編集委員長松本・委員一同



3つの要件を満たせばどなたでも加入できます！

### ◆加入資格

- 60歳未満
- 国民年金第1号被保険者
- 年間60日以上農業従事



税制面優遇措置、終身年金で80歳までの保障付きなど様々なメリットがあります。加入についての説明や相談も行っております。

# 全国農業新聞

を購読  
しましょう！

経営と暮らしに役立つ情報がいっぱい

- ◆発行日 毎週金曜日
- ◆購読料 一カ月700円 年額8,400円

お問い合わせ、お申込みは農業委員会へ  
☎ 53-8440 FAX 52-7765

山田重隆農業委員が平成30年10月28日に逝去されました。

会長職務代理者などを歴任され七尾市の農業振興に多大な貢献をされました。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

